

# 広報 しばた



## おだいりさまとおひなさま 二人ならんで ニッコニコ

ひなまつりに向けて、保育所では手作りのひな人形を作りました。「おひなさまかわいくできたよ」、「ぼくのおだいりさま笑ってるんだよ」といろいろな表情のひな人形を見て大盛り上がり子どもたち。完成したひな人形は、ひなまつりまで保育所のホールに飾られます。  
【2月15日(火) 槻木保育所】

# 令和4年子ども議会

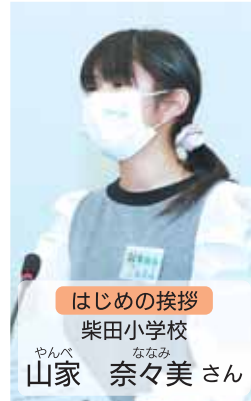
「笑顔がイネ！  
希望と夢で羽ばたく柴田町」



進行  
西住小学校  
さかもと なつき  
坂本 夏希 さん



お礼の言葉  
西住小学校  
やしまた ゆうせい  
八島 悠生 君



はじめの挨拶  
柴田小学校  
やんべ ななみ  
山家 奈々美 さん



## 町の未来を共に考える 子ども議会

2月4日(金)、柴田小学校・西住小学校の6年生による「子ども議会」が、柴田町議会議場で開催されました。

子ども議会は、行政や議会が自分たちの暮らしの中でどのような働きをしているのかを理解するとともに、柴田町のまちづくりについて関心をもってもらうことを目的としています。

児童の皆さんは、どうすれば柴田町がより良いまちになるのかを真剣に考えて話し合い、それを提案としてまとめ、代表の8人の議員が質問しました。

子ども議会で提案された貴重な意見は、今後の町政運営に生かされていくことになりました。  
※議事の内容を抜粋して掲載しています。

### 問 教育総務課

Tel 55-2134

### 1番

#### 柴田小わくわくランド計画 を実現させるために



柴田小学校  
さとう みや  
佐藤 美哉 議員

柴田小学校には、自然豊かな「わくわくの森」や「わくわくの池」、校庭を一周する「わくわくサーキット」があります。これらを生かして、みんなが行きたくなる学校にするために「柴田小わくわくランド計画」を提案します。

#### ① わくわくの池をビオトープにする計画を

答弁 ビオトープは、地域特有の生物が住めるだけでなく、繁殖して成長できる環境でなくてはなりません。わくわくの池は、近年の大雨によって水が濁っている状態にあります。

池の水をきれいにし、いろいろな生物が集まり、ま

た生物をどのように守っていけるかを学校と一緒に考えていきたいと思っています。

#### ② わくわくの森を安全に整備して果樹園を

答弁 りんごやナシなどの果樹園をつくるには、維持管理などが難しいので、柴田小学校のキャラクター「ゆずさちゃん」に代表されるユズの木を植樹、サーキットコースのスタート、ゴールの看板や転落防止柵の設置、遊歩道の整備など、学校の自然を生かした形で整備に取り組んでいきたいと思っています。

### 2番

#### みんなが安全に 学校へ通うために



柴田小学校  
ほらぐち ももか  
洞口 桃花 議員

私たちの学区の中には、危険な場所がいくつかあります。毎日通う道なので、

みんなが安全に学校に通えるように、改善してほしい場所について提案をします。

### ①海京橋付近の道路の整備を

**答弁** 海京橋付近は地盤が軟弱なため、毎年のように補修を行っても1年も経たずに傷んでしまいます。道路の安全確認のパトロールを頻繁に行い、傷んだところがあれば直ぐに補修するなど対応していきます。

### ②真中橋付近の通学路の整備を

**答弁** 真中橋付近の通学路は、用水路と並行し道幅が狭くなっているため、柵な



どの設置は車両通行に支障が出る恐れもあることから、慎重に判断する必要があります。また、歩行者が安全に渡れるように、交通規制について宮城県公安委員会に要望していきます。

### ③見通しの悪いカーブの整備を

**答弁** カーブミラーは適さない場所に設置した場合、スピードを落とさずに危険な運転に繋がり、思わぬ事故が発生する危険があります。ご指摘の道路は幅も広く歩道も整備されています。まずは、「歩道のあるところは歩道を利用する」という交通ルールを守っていたきたいと思います。

3番

### 柴田町をもっと愛される町にするために



柴田小学校  
かんの 管野 菜  
れいな 令 議員

町外の人に柴田町を知ってもらい、町の人にはもつとこの町を好きになつてもらうために、はなみちゃんを通して町のことを知ってもらう「はなみちゃん全国進出計画」を提案します。

①はなみちゃんグッズやイベントを

**答弁** はなみちゃんグッズは、柴田町観光物産協会が販売し、現在新たなグッズの制作にも取り組んでいます。今後も、商工会や地元のお店などに呼びかけて、はなみちゃんのイラスト入りの商品などの開発に取り組んでいきたいと思っています。この2年間は感染症の影響により、はなみちゃん関連のイベントは実施していませんが、毎年実施されている県南各市町のゆるキャラを探すスタンプラリーでは、町内外の幅広い年代の方々に楽しんでいただいています。

4番

### 水害の心配なく安全に暮らすために



西住小学校  
よしもと 瑛 虹  
議員

②はなみちゃんに仲間を

**答弁** 各小学校のキャラクターと一緒に、はなみちゃんを学校や地域の行事などで活躍させていきたいと思っています。各小学校のキャラクターがはなみちゃんの仲間たちとして一緒に活躍してくれている姿は、町のホームページや広報紙で紹介していきます。

2019年の台風19号によつて、柴田町は大きな被害を受けました。私の家は近くの排水路から水があふれて床下浸水しました。そこで、このような水害から人々を守るために次のことを提案します。

### ①水が溜まりやすい場所に排水路の増設を

**答弁** 西住地区は、住宅地の土地が低く水はけが悪いため、単に排水路を増やせば問題が解決するというわけではありません。

根本的な冠水被害の軽減を図るため、平成25年度から柴田町・大河原町両町で雨水調整池の整備や排水路の整備を行っています。令和5年度完成予定の雨水調整池が完成すれば冠水被害は相当少なくなるものと考えています。



## ②排水ポンプの増設を

**答弁** 西住地区には、強制排水ポンプが13基設置されています。令和4年度にも2基新設する計画としています。また、令和2年度には排水ポンプ車を購入し、非常時には速やかに出動できる体制を整えています。

## ③冠水の被害が大きい場所にライブカメラの設置を

**答弁** 現在、町ではライブカメラを設置していませんが、今後、ライブカメラの活用方法などについて、十分に研究していきたいと考えております。

### 5番 未来でも美しい 柴田町のために



代読 西住小学校  
すずきはな  
鈴木花奈  
議員



西住小学校  
にいつまるる  
新妻瑠々  
議員

柴田町は、桜の季節には観光客であふれます。しかし、電車が通る場所は雑草が生えていて、桜より目立つ場所もあります。そこで私は、町をきれいにし、たくさんの人に喜んでもらう町にするために、次のことを提案します。

## ①町民で除草作業を

**答弁** 白石川の線路沿いはJRで除草作業を行っています。また、町では3月に多くのボランティアの方々に参加いただき、船岡城址公園と白石川沿いの清掃活動を行う「おもてなしクリーン作戦」を実施しています。昨年度は、感染症対策のため中止となりましたが、今後も継続して取り組んでいきます。

## ②芝生から水の出る公園の整備を

**答弁** そうした施設があればたくさんの方が集まると思いますが、夏場し

か利用できないことや、完全に遊ぶための監視員の配備、また定期的な水質の確認も必要になるため、施設の整備は現時点では難しいと考えています。



## ③柴田町の施設の外観整備を

**答弁** 平成26年に、しばたの郷土館、柴田町図書館の外にある看板を新しくして外観を整備しました。また、それ以外にもJR船岡駅にある町のイベントをお知らせする看板もリニューアルし、より「花のまち柴田」

をアピールできるようになりました。

### 6番 みんながいつでも笑顔で 過ごせる町にするために



西住小学校  
やまざきゆい  
山崎 議員

柴田町では季節に応じたイベントを開催していますが、地域の人々の関わりを深めるためには、もっとたくさんの方々のイベントがあるとよいと思います、次のことを提案します。

## ①地域の方々からのイベント提案募集を

**答弁** 町には、皆さんから町を元気にするアイデアを募集する「まちづくり提案制度」があります。今年度は、オリジナルのハンバーガーを提供するイベントについて提案があり実現しました。イベントが開催できる複合施設については、今ある施

設を活用し、子どもから大人までが楽しく活動できる交流の場を作っていきたいと考えています。

## ②高齢者施設への小・中学生訪問ボランティアを

**答弁** 各小中学校には地域に貢献する活動に取り組む「地域貢献し隊」があります。現在は感染症の影響で、高齢者施設でのボランティア活動は難しい状況ですが、感染症が収まった後は、「地域貢献し隊」の活動を通して、誰かのために役立ちたいという思いを育んでいきたいと思っています。



7番

柴田町のことを  
もっとたくさんの人に  
知ってもらうために



西住小学校  
てらやま 寺山 咲羽  
さわ 議員

柴田町が桜で有名なことは知られていますが、桜以外の自然や、特産物については知らないという人も多いのではないのでしょうか。そこで、柴田町の魅力を発信し、たくさんの人を知ってもらうために次のことを提案します。

### ①PR動画の発信を

**答弁** PR動画「しばたっいいいな。」は、ユーチューブなどでの配信のほか、柴田町観光物産交流館さくら里で映しています。公開から6年が経過していることから第2弾のPR動画を制作したいと考えています。

また、令和2年度にはユーチューブで「わたしの

田舎暮らし／柴田」という観光スポットや特産品などを取り入れたオリジナルドラマを配信しています。

今後は、町の施設などでPR動画の活用も考えていきます。

### ②イングリッシュボランティアの常駐を

**答弁** 現在は感染症対策の観点からボランティアの方々に案内をお願いすることは難しいと考えております。以前の規模で桜まつりを行えるようになった際には、ぜひ小中学生の皆さんにも協力していただきたいと思っています。

8番

### 子供たちの体力を 向上するために



西住小学校  
おの 小野 けいた 圭 太  
議員

新型コロナウイルスの影響で、子どもたちは公園で

遊ぶ機会が減り、家でじっとしている時間が増えたことで、体力が低下しているのではないのでしょうか。そこで、体力の向上のために次のことを提案します。

### ①「元氣いっぱい＊しば体操」の活用を

**答弁** 「元氣いっぱい＊しば体操」は、町と仙台大学が連携して作成した準備体操です。体育の授業の準備運動などで活用しているほか、保育所から体操を使ってみたいという依頼があるとも聞いています。

学校生活の多くの場面で親しみ、長く引き継いでいくことができれば、ラジオ体操のように、長く親しまれる体操になっていくと思います。

### ②スポーツターの設立を

**答弁** 「スポーツターの設立」は、とても素晴らしいご提案です。町では週1回以上の運動や、スポーツに取り

組む町民を増やす事業を展開しています。また、体を動かすことが習慣化されるよう、そのきっかけとなる健康・体力づくり教室なども開催しています。スポーツター設立を視野に入れながら、まずは、これらの周知を図っていきます。



### ③土日の学校遊具の開放を

**答弁** 柴田町ではありませんが、放課後に子どもたちだけで遊具を使って大事故につながったケースが発生しています。このようなこともあり、安全管理の面から土日の学校遊具の開放はしていません。

### 子ども議会を終えて



柴田小学校  
ひらま 平間 こうすけ 煌裕  
議員

議長になり「しっかりとしなきゃ」と思い、とても緊張しましたが、役場の方々が優しく安心してました。

子ども議会なのに町長さんや教育長さんに本格的に答弁をしていただき、うれしかったです。



西住小学校  
よねやま 米山 はると 遥人  
副議長

副議長を務めてすごく緊張しましたが、大きな声で言えました。ぼくの家も床下浸水して心配していたので、これからの取り組みが分かって安心しました。

他にも、新しいイベントを作るなどの意見が実現すると思います。



183

柴田町長 滝口 茂

現在、中名生・下名生地区、葉坂地区、富上地区に加え、令和4年度には新たに、入間田地区が県のほ場整備事業に採択されるように、要望しているところです。

町民の皆さんは、ほ場整備という言葉はあまり耳慣れないかも知れません。よく市街地で行われている、土地区画整理事業の水田版とイメージしていただければ分かりやすいかと思います。一つ一つが小さく形がいびつな田んぼを、一定の面積に作り直すとともに、用排水路や農道などを整備し、効率的な農業を行うために必要な工事を行う事業です。

なぜ今、ほ場整備事業が必要かといえますと、近年農村集落においては、稲作離れが深刻で、田んぼを所有しているも耕作を行わず米作りは、本格的に稲作に携わっている担い手農家に頼んでいるのが実情です。しかし、米作りを頼まれる担い手農家も年々減少してきますので、農作業を行うには効率の悪い、不整形な田んぼでの耕作は引き受けたがらなくなっています。

そこで、地域の人たちの同意を得て、田んぼの大区画化や農道を拡幅し、大型の農業機械を使った、少ない人員での効率的な農

## スマート農業への挑戦

作業を実現できるように、ほ場整備を実施するものです。また、ほ場整備でぬかるんだ田んぼを乾田化して、大麦や大豆など、米以外の作物を育てて収益力を向上させることで、自立できる担い手農家の育成も目指しています。

しかし、水田農業で心配されていることは、急激に人口が減って、米を食べる人が年々少なくなり、米余りが常態化していることです。特に令和3年においては、新型コロナウイルスの影響で、外食産業の需要が大幅に落ち込んだこともあって、米価が大きく下がりました。

町では、今年の作付けに支障が出ないように、1反当たり4千円の支援を行いました。しかし、毎年米価が下がるたびに税金で補填し続けることはできませんので、新たな打策が必要となっています。

ほ場整備事業で単に田んぼを広げるだけでなくとどまらず、デジタル時代に合った新たな農業として、ロボット技術や通信技術を活用した農作業の自動化、栽培履歴や気候変動データなどを分析し、生産品質の向上や高収益につなげるなど、いわゆるスマート農業にチャレンジすることで、新たな水田農業の活路が開拓できるのではないかと考えております。

## しばた歴史探訪

### 第15回 八雲神社

入間田の八雲神社は、江戸時代、「牛頭天王社」・「祇園社」と呼ばれていました。これは、祇園祭で有名な京都の八坂神社が、仏教の聖地「祇園精舎」の守護神で疫病をもたらす神でもある牛頭天王を祭神として祀ることで、疫病の流行を防ごうと考えた祇園信仰から始まったものです。このお社も、疫病や災厄を避けたいと願う人々によって建立されました。

豪壮な石鳥居には、1763年に氏子によって寄進されたことが刻まれています。この年と前年には、仙台藩領はイナゴの害や長雨、地震さらには洪水に見舞われました。氏子たちは鳥居を建立することで、穏やかな生活を取り戻せるよう願ったのでしょう。参道を登ると、1775年の銘のある鉄灯籠があります。この前年にも、日照りや疫病、米の不作があったことが分かっています。当時の人々にとっての最大の難事は、人の手で防ぎようのない疫病や自然災害だったことがわかります。

さて、牛頭天王社や祇園社が、なぜ八雲神社と呼ばれるようになったかという点、「第14回久須志神社」の話と同じです。明治以降、仏教と神道はしっかりと分けられました。仏教の守護神である牛頭天王が日本では須佐之男命スサノヲノミコトとして現れたという信仰から、須佐之男命の「八雲立つ」に始まる和歌から取って八雲神社としたわけです。

園しばたの郷土館

TEL 55-0707





# 健康情報クリップ

なるほど!

みんなの健康ライフ シリーズ88

## 第88回のテーマは、「自殺予防」です。

毎年3月は「自殺対策強化月間」です。令和2年の全国の自殺者数は21,081人で、11年ぶりに増加しました。コロナ禍の環境の変化で、特に若い世代や女性の自殺者数が増加しています。悩みや不安をひとりで抱え込んでいませんか。また、自分から「助けて」と声をあげることができない人もいます。下記のチェックで気になる事がある時、身近な人の異変を感じた時は、周囲の人や専門の機関に相談しましょう。

自己チェック	周囲が感じる変化
<ul style="list-style-type: none"> <li>理由もなく悲しい、涙が出る</li> <li>今まで楽しめていたことが楽しくない</li> <li>今まで楽にできていたことが出来ない、時間がかかる</li> <li>理由がわからないが、疲れやすい</li> <li>何をやる気にもなれない</li> <li>眠れない、寝付けない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>表情が暗く元気がない</li> <li>体調不良を訴えることが増えた</li> <li>遅刻や欠勤（欠席）をするようになった</li> <li>飲酒量が増えた</li> <li>食事量が減った、もしくは増えた</li> <li>小さな事故、ミスが増えた</li> </ul>

## LINE・チャット相談窓口

### NPO法人自殺対策支援センターライフリンク 「生きづらびっと」

相談時間／月・火・木・金・日曜日  
17:00~22:30  
月・水・金・土曜日  
11:00~16:30

LINE ID @yorisoi-chat



### NPO法人BONDプロジェクト(10~20代女性対象)

相談時間／月・水・木・金・土曜日  
10:00~22:00

LINE ID @bondproject



### NPO 法人あなたのいばしょ

相談時間／24時間365日

チャット <https://talkme.jp/>



そのほかの窓口は **まもろうよ ころこ** で検索

## 電話相談窓口

いのちの電話 相談時間／毎日 10:00~22:00 TEL0570-783-556  
毎日 16:00~21:00、毎月 10日 8:00~翌 8:00 TEL0120-783-556

チャイルドライン (18歳まで対象) 相談時間／毎日 16:00~21:00 TEL0120-99-7777

町の相談 相談時間／平日 8:30~17:00

- 子どものひきこもりに関すること 柴田町子どもの心のケアハウス TEL51-9331
- 精神的な不調に関すること 健康推進課 TEL55-2160
- 障害および生活困窮に関すること 福祉課 TEL55-5010

図健康推進課 TEL55-2160

6 安全な水とトイレ  
を世界中に



## 私たちとSDGs 連載⑥

問まちづくり政策課 TEL54-2111

### ゴール6. 安全な水とトイレを世界中に

世界の人口の約3分の1が安全な水を飲むことができず、約2分1は衛生的なトイレを使うことができません。また、地球温暖化や人口の増加、経済の発展などの影響で、今後ますます水が不足することが予想されています。

私たちが日ごろから節水を心がけることが大切です。水道を30秒出したままにすると、約6リットルもの水が無駄になります。食器はためた水で洗うなど、できることから取り組みましょう。

# まちかど NEWS



カラオケで民謡など歌うことが好きな渡邊さん。



花を育てるのが好きだという和田さん。

## 100歳おめでとうございますNEWS

渡邊フヨノさん(海老穴)が1月2日(日)に、和田貴美子さん(北船岡2丁目)が1月24日(月)に、めでたく100歳を迎えられました。

角田市出身の渡邊さんは、若い頃から畑仕事をしていたおかげで足腰が丈夫で、今でも歩行器を使って、ご自分で歩いているそうです。

仙台市出身の和田さんは、お庭で土を触るのが好きなので、外に出られる春が待ち遠しいと、お元気に話されました。

いつまでもお元気でいらしてください。

## 花いっぱいの憩いの緑地

NEWS

1月26日(水)、槻木小学校6年生が、槻木駅西緑地公園で植栽活動を行いました。

この活動は、「持続可能なより良い柴田町にするために」をテーマに児童の皆さんが町の将来について考えたアイデアを形にしたものです。

地元の造園業者の協力の下、しだれ桜やレンギョウ、アジサイなどの花木約140本が植えられました。

佐藤匠隼君は、「柴田町に住みたいと思ってもらえるように、これからもいろいろな考えを実践していきたいです」と話してくれました。



綺麗な花が咲く日が楽しみです。

広 告

広 告



## 社会に触れるキャリアセミナー



講師の山崎製パン(株)仙台工場の森川大輔さん。

2月1日(火)、船迫中学校で、職業人から仕事の話を行い、将来の目標や進路について考える、キャリアセミナーが行われました。

普段、あまり接する機会が少ない社会人から、仕事の話だけではなく人生経験も直接聞ける貴重なセミナーに、生徒の皆さんからは積極的に質問が飛んでいました。櫻井侑来さん(1年生)は、「仕事のやりがいや苦労について話を聞くことができたいと思います」と感想を話してくれました。

## 寄贈ありがとうございます



昨年度に続き、2基目を寄贈いただきました。

2月9日(水)、みやぎ仙南農業協同組合から、イノシシなどによる農作物の被害軽減に役立ててほしいと、害獣捕獲用の箱わな1基を寄贈いただきました。

みやぎ仙南農業協同組合齋藤達義理事は、「この箱わなを害獣駆除に活用していただき、安心して農作物を作れるようになってもらいたいと思います」と述べられました。箱わなは、柴田町有害鳥獣捕獲隊員によって、イノシシ被害が多い地区に設置されます。

## 女性活躍経営体部門で最優秀賞を受賞

大沼カツヨさん(船迫)が、宮城県農業・農村女性活躍表彰の女性活躍経営体部門で最優秀賞を受賞し、2月9日(水)に町長へ報告に訪れました。

この賞は、自らが経営者となり活躍する女性へ贈られるもので、大沼さんは農産加工販売「柏工房」を立ち上げ、女性の力を生かし安定した収益を上げ続けていることが高く評価されました。

大沼さんは、「これからも多くの方に喜んでもらえる商品づくりを頑張っていきます」と話してくれました。



柏工房のおにぎりやお弁当は、さくらの里などで販売されています。

広 告

広 告



こうほう 文芸

短歌

手術明け大寒の空澄み渡り  
 「大事に生きろ」と天の声聞く 西船迫 三澤 精一  
 コロナ禍で孫に会えない寂しさを  
 夫は児の服鴨居にかけて 船岡 可沼 妙子  
 白鳥が阿武隈川で戯むれて  
 新春の空を悠々と舞う 槻木 白石 光子  
 一日が超特急のごとく過ぎ去り  
 100年人生あつと言う間か 西船迫 下浦 智子  
 夜半の月松の枝葉を逆光に  
 見上げる月影葉末煌めく 槻木 平間 三郎  
 雪解けの水溜まりには「春の雲」  
 映りいて夫の一周忌の日に 船岡 柄目けい子  
 ニュース見て驚ろき落胆ガッテンで  
 勇気付けられブラマイゼロ 西船迫 安ヶ平良三  
 孫達がそろって祝う誕生会  
 笑顔はじける歓声上がる 四日市場 鳥井崎  
 そびえたつ蔵王の白きうねひかり  
 じーんと心すみわたりけり 西船迫 OOK  
 夕暮れて電線に並ぶ寒雀  
 家族の団らん見ているように 船岡 沢田 順子  
 後僅か二月の月の歴には  
 雛飾ると記してあり 船岡 伊藤タイ子  
 冬空に孫を追いかけておにごっこ  
 公園の中春を探して 本船迫 森田 眞六

川柳

豆撒くも拾う人無く老い二人 北船岡 日下 功  
 けしからん庭に用足すよその猫 槻木 村上 紫寿  
 ボツとして大事な所読み忘れ 西船迫 安ヶ平良三  
 夫からの教えをまもり草けずる 船岡 阿部美代子  
 せきくしゃみみんな遠のく花の宴 四日市場 鳥井崎  
 苦しみにやつれし心涙空 西船迫 OOK  
 ゆりの花百寿の母に紅さして 槻木 永井 貞子  
 雪の朝ほうきの跡のさわやかさ 槻木 加藤 節子  
 忘れし葱立ち上がる留守厨 槻木 加藤 マサ  
 朝一に新聞見るのはコロナから 船岡 小林 夢子  
 鬼は外コロナもいつしよに出て行つて 西船迫 後藤 文子  
 にこやかに初々しい新社員 槻木 大宮廣四郎

俳句

白菜の重石かたむき今生きる 西船迫 佐藤 厚子  
 寒き夜の布団温めり湯たんぼで 船岡 可沼 妙子  
 酷寒に臘梅小花凜と咲く 槻木 平間 三郎  
 うすらひの廻り羅漢の笑ひ出す 石母田 星人  
 春浅し影を消し合ふ舫ひ舟 鎌形 清司  
 白梅の香り抱へてくる童女 齋藤 善則  
 風に立つ牛に草萌えいづるなり 鈴木 三山  
 実習生のふんばる足裏若布刈 鈴木 清子  
 検温に始まるひと日春障子  
 わかぬがりに放課後の子を沸き立たせ  
 流れゆく雲の速さや春うれひ  
 心浮く着替えもうすぐ春立ちて  
 枯草をかぶり春待つ小さな芽  
 確実に春の匂いの野山かな  
 チュンチュクチュン誘われ嬌と日向ぼこ  
 立春に朝の食卓黄身ふたつ  
 船岡 沢田 順子  
 四日市場 鳥井崎  
 西船迫 安ヶ平奈津枝  
 飛鳥  
 鈴木 幸子  
 峠 三枝子  
 吉田 啓子  
 安藤 節子

俳句・川柳・短歌に興味があり、こうほう文芸に載せたい方は、はがきなどで3月14日(月)までご応募ください。 圃 まちづくり政策課 TEL54-2111

広 告

広 告

## 他市町に先駆ける3Dプリンターの導入・活用

現在、3Dプリンターはさまざまな分野で広く導入されています。子どもたちが将来仕事に就く頃には、3Dプリンターを活用する力が求められる時代が来ることが予想されます。そのような時代に対応できるように、今のうちから3Dプリンターを活用し、これまで平面で見ていた立体図形を実際に手に取って学ぶことで、「観察力」、「認知能力」、「創造力」などを育てあげたいと思っています。

また、自ら3Dプリンターで作ったオリジナルの「桜のキーホルダー」を、子どもたちが桜の時期に英語で外国人観光客をおもてなしする「JOV活動」の際に英語で説明しながら手渡すことで、町のPRに貢献し外国人観光客のために役立てたことをより一層実感できるものと思っています。

このように、3Dプリンターを子どもたちがやりがいを感じる取り組みに活用していきます。

柴田町教育委員会 教育長 船迫 邦則

中学校の技術・家庭科で必要とされる教材に3Dプリンターが追加されたことで、先進的な教材の活用が求められています。物作りのスタート地点として、パズルや立体図形などを作成したり、世界にひとつだけの自分の立体作品を作ったりすることで「子どもの発想力」を育てる絶好の教材として、小学校教育から導入することが世界的な流れになっています。

柴田町では他市町に先駆けて全小中学校に3Dプリンターを導入し、今年度は仙台高等専門学校の協力を得ながら研修会を行いました。未来を生きる「しばたの子どもたち」にとって3Dプリンターの学習経験が大きな財産になるように、教員一丸となって取り組んでいきたいと考えています。

町校長会会長 船岡小学校長 古積 裕一



3Dプリンターで立体的に作った  
船岡小学校の校章

今年度、中学校学習指導要領が新しくなり、技術科の学習において課題の解決策を具体化する際の手法として、3Dプリンターの活用が示されました。全国では、まだほとんどの学校で3Dプリンターの整備が進んでいませんが、柴田町では全小中学校に3Dプリンターが導入されています。

小学校では3Dプリンターに触れる機会を持てるという利点を生かし、中学校では自分のアイデアや構想に問題が無いかを確認する深い学習を行うことが可能になります。

他市町村に先駆ける経験は、「しばたの子どもたち」の人生を切り拓く力を支えるものになると信じ、より効果的な活用を図りたいと思います。

町校長会副会長 槻木中学校長 川田 尚

広 告

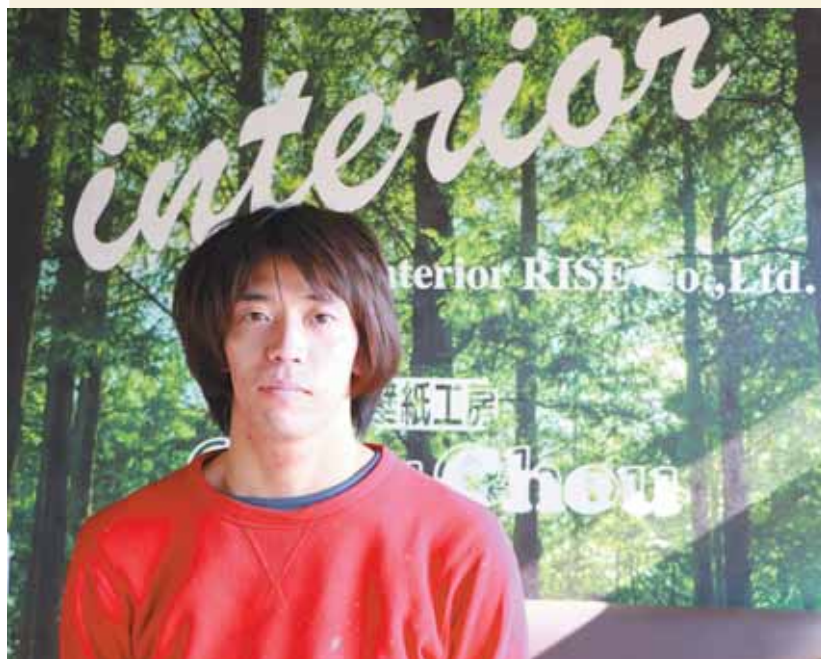
広 告

## お客さまに 快適な空間を提供したい

株式会社インテリアライズ

佐藤 勇仁まさとさん（28歳）

今回は、住宅や店舗のリフォーム工から、壁・床、窓回りの内装工事、インテリアに関する施工全般を手掛ける（株）インテリアライズの佐藤勇仁さんを紹介합니다。



佐藤さんは全く違う職種から、お兄さんが経営する（株）インテリアライズに転職し、3年目になります。主に、天井壁のクロス貼りや、水回りの床で使われるクッションフロアの施工を担当しています。

内装の仕事は、いかにきれいに仕上げるかが大切だそうで、特に気を付けている点について「クロスを貼った時、特に目につくのが継ぎ目です。そこを目立たないように、全体を見て模様を合わせながら貼らなければなりません」。また、「クロスや糊は、湿気や温度によって状態が変わるため、それに合わせて貼り方も変えています。例えば冬場は寒さでクロスが硬くなって張りづらかったりしますね。これは床も同じで、クッションフロアなどの素材が環境に左右される場合があるので、そこを計算して作業しています」と話します。



住宅のクロスを貼る佐藤さん。

仕上がりに満足いかなければ、クロスも床も剥がして、一からやり直すこともあるそうです。そこまでの理由は、お客さまからきれいに言ったと喜んでもらいたいからと言います。「きれいに仕上げることできた時の達成感と、直接お客さまからお礼を言われることが、仕事をしていた良かったと感じる時ですね」と話してくれました。

これからの目標について何うと、「目標としているのは、兄である社長の施工技術です。今はまだ及ばませんが、いずれは追いつき、そして追い越したいと思っています。また、国家資格の表装技能士も目指しています」と話してくれました。そんな佐藤さんの癒される瞬間は、仕事から帰宅して愛猫と戯れる時間で、近々もう一匹お迎えすることがとても楽しみだそうです。これからも頑張ってください。



（株）インテリアライズ  
柴田町榎木白幡1丁目3-10  
TEL 86-3145

平成18年設立。住宅や店舗のリフォームから、オーダーカーテン、クロス工事などのインテリアの総合施工を幅広く手掛ける。従業員5人

人口と世帯数  
（令和2年2月1日現在）



37,228人  
（前月比39人減）



18,563人  
（前月比24人減）



18,665人  
（前月比15人減）



16,104世帯  
（前月比9世帯減）

※平成24年7月9日の住民基本台帳法の改正に伴い、外国人を含む人口と世帯数となります。